

〈解答〉

- (1) (上越(高田)では、)北西の季節風が、海から蒸発した水分を多く含んで吹くから。
(28字)
- (2) 商工業者の経済力や貿易に目を向けて、営業税の増収や貿易の利益拡大によって、幕府の財政を立て直そうとした。
- (3) 業務を効率的に行うことで、財政の支出を減らすことができる。

〈解説〉

- (1) ユーラシア大陸から吹いてくる、乾燥した北西の季節風が、暖流の対馬海流の流れる日本海上を通るときに、蒸発した水分(湿気)を多く含み、湿った風となって日本海側の地域に雪や雨を降らせる。これによって、北陸地方は世界有数の豪雪地帯となっている。
- (2) 貨幣経済の広まりにともない、百姓から徴収する年貢米に頼る江戸幕府は、財政の悪化に苦しむようになった。財政難を克服するために、徳川吉宗、松平定信、水野忠邦は質素・儉約を勧めたのに対し、田沼意次は商人の力を利用した積極的な産業政策を推し進めたことに特色がある。
- (3) 地方分権により地方公共団体の仕事が増えるにともない、肥大化した財政の改善が課題となっている。市町村合併によって、仕事の無駄を省き、効率化を図ることが期待されている。